

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代文	2	2年 1類 (A型)	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
HHHHHHH		精選現代文B (東京書籍)	常用漢字ダブルクリア(尚文出版)

<p>科目の到達目標</p> <p>国語総合における学習を基礎に、近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。</p> <p>論理的な文章を通して、筆者の主張がどのような根拠に基づき、どのような論理構成で述べられているかを読み取る。</p> <p>文学的な文章に触れ、人物や情景を表現に即して捉え、登場人物の心情や生き方を理解する。</p> <p>詩や短歌の韻文に触れ、言葉の美しさを学び、感受性を豊かにする。語句の意味、用法を理解し、語彙を豊かにし、適切に表現することを通して理解した内容を深め、発展させる。</p>

<p>評価の観点と方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の単元教材ごとに読解力、鑑賞力、語彙力等が備わっているかを各定期考査で検証する。 生徒全体の理解の度合いの検証とともに、生徒個々の理解の伸長、遅滞にも留意する。 適宜漢字小テストや小論文指導を実施する。
--

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	評論 「世界をつくり替えるために」 小林 康夫 評論 「ミロのヴィーナス」 清岡 卓行	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の意見を読み取り、特色ある表現を学ぶ。 想像力による可能性の多様さや芸術の見方について考えを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文中に挙げられている具体例の効果を理解し、要旨を的確に捉える。 逆説的、比喩的表現に注意し、筆者の意見を理解する。
	5	1学期中間考査		
		小説 「山月記」 中島 敦	<ul style="list-style-type: none"> 小説の虚構性を通して人間存在の意味、人生の在り方について考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 小説に描かれた場面や登場人物についての的確に捉える。 作中人物の言動、心理を読み取り、人間理解に繋げる。 漢文調の文体を味わう。
	6	評論 「相手依存の自己規定」 鈴木孝夫	<ul style="list-style-type: none"> 言語と自我の構造の関係について考えを深める。 言葉で表現することへの意欲を持ち、効果的な表現を考えて書く力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の視点や観点を理解し、本文の表現に注意して筆者の意図を的確にとらえる。
	7	小論文指導 1学期期末考査		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	評論 「科学的「発見」とは」 小川 眞里子	・科学を新しい角度からとらえ直し、人間存在についての考えを深める。	・評論文の構成や論の展開に注意して叙述内容をたどり、内容を的確に捉える。
	10	詩 「竹」 萩原 朔太郎 短歌 「牡丹花は一短歌抄」 木下 利玄ほか	・詩歌に表現された作者の心情を的確に読み取り、鑑賞力を高める。 ・韻文のリズムや季節を味わう。	・詩歌における言葉の働きやそれぞれの作品の表現上の特徴を理解する。 ・音読によってリズムを味わい、韻文に親しむ。
	11	評論 「消費されるスポーツ」 多木 浩二 2学期中間考査	・現代社会における、スポーツの発展とメディアの関係性を考察する。	・筆者の意見を的確に捉え、メディアが果たす社会の形成を考察する。
	12	小説 「こころ」 夏目漱石	・人物の心情の推移を的確に読み取り、優れた表現や描写を味わう。	・場面、登場人物の言動、心理を的確に読み取る。 ・作品の構成・主題を読み取り、作中人物の人間像を明らかにする。
	12	俳句 「プラタナス―俳句抄」 小論文指導 2学期期末考査	・俳句に表現された作者の心情を的確に読み取り、鑑賞力を高める。	・俳句を読み味わい、繊細な表現を通して自らの言語感覚を磨く。
三 学 期	1	小説 「藤野先生」 魯迅／竹内好訳	・作品の理解を通して人間・社会についての洞察を深める。	・時代背景をふまえながら作品を読み、本文の表現に即して登場人物の心理を的確に読み取る。
	2	評論 「「である」ことと「する」こと」 丸山 眞男 小論文指導	・日本の近代化の特質と問題点を読み取るとともに、現代を生きる私たちの価値観を考える。	・近代化の時代背景を整理しつつ、文化的価値の移行を読み取る。 ・論理の構成や展開を意識し、小論文を書く力を養う。
	3	学年末考査		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・大学入試に対応するための読解力を目指し、論理的思考を養う。
- ・文章表現の練習を計画的に行い、小論文の力を養成する。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
古典B	3	2年1類A型	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
HHHHHHH	精選古典 B(東京書籍)		古文単語 325 (尚文出版)

<p>科目の到達目標</p> <p>国語総合での学習を基礎として論理的思考の過程やその表現、構成を学び、ものの見方、考え方の発展につなげるとともに、読解力を確かなものにする。</p> <p>古文単語や文語文法などの古文解釈の基礎力を固め、さまざまな古典を読み味わうとともに、古文の解釈力を高める。</p>
--

<p>評価の観点と方法について</p> <p>古文教材の学習を中心に、古文解釈力の伸長の度合を定期考査で検証する。</p> <p>なお、古文単語小テストを定期的に実施、課題テストと併せて、評価の一部とする。</p>

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	説話『宇治拾遺物語』 「小野篁、広才のこと」	・説話に叙述された世界を読み味わう。	・説話を読み、一年次に習った文法事項の復習をしながら、その構成や展開に即してあらすじをとらえる。
	5	説話『古今著聞集』 「能は歌詠み」		・敬語表現の基本的な知識を得させる。(敬語の種類)
		1 学期中間考査		
	6	漢文「先従隗始」	・故事成語の由来を正しく理解する。	・漢文に慣れ、訓読上のきまりをより正しく理解させる。
		物語『伊勢物語』 「初冠」「渚の院」	・登場人物の境遇や心情がどのように表現されているかを読み取る。	・話の内容を正確に理解させる。
	7	随筆『枕草子』 「九月ばかり」 「中納言参り給ひて」	・自然や人間についての古人の優れた感性を知る。	・歌物語を読み、登場人物の心情や行動について考えさせる。
		1 学期末考査		・和歌の基本的な知識を身につける。
			・随筆を読み、作者の自然観や人生観に触れる。	
			・敬語表現の使われ方を理解する。(敬意の方向等)	

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	日記『更級日記』 「門出」 「物語」	・作者の生き方やものの見方、 感じ方を知る。	・日記を読み、作者の心情を読み取 りながら、当時の女性の生き方に ついて考える。
	10	漢文『史記』 「鴻門之会」「四面楚歌」 2学期中間考査	・登場人物の性格や生き方を通 して、人間のあり方や運命に ついて関心を深める。	・話の展開を読み取りながら、古代 中国の歴史の劇的な面白さを味 わう。
	11	物語『源氏物語』 「光源氏の誕生」 「若紫」 和歌「万葉秀歌」、「王朝 秀歌」など	・場面設定や自然描写などを確 かめながら、物語の世界を読 み味わう。	・『源氏物語』の世界に親しみ、登 場人物のものの見方や心情の推 移を読み取らせる。
	12	漢文「春夜宴桃李園序」 2学期末考査	・中国の文章を通して、筆者の 主張を捉え、さまざまなもの の見方、考え方に触れる。	・文章の構成や展開を理解させ、論 旨を的確に捉えさせる。
三 学 期	1	歴史物語『大鏡』 「道長、伊周の競射」 「三船の才」	・登場人物の境遇や心情がどの ように表現されているかを読 み取る。	・歴史物語を読み、登場人物が政治 の世界でどのように生きたかを 理解させる。
	2	漢文 儒家と道家 『論語』『孟子』『老子』 など	・中国の思想を通して、人間の 生き方やあり方についての思 索を深める。	・人間や政治をめぐる古代中国のさ まざまな思想を読み取る。
	3	学年末考査		
<p>その他（履修上の留意点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予習として、古文は音読・本文書写・口語訳を、漢文は音読・書き下し文をしておくこと。 ・ 古文単語小テストを実施し、成績に組み込む。 				

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代文	2	2年 1類 (B型)	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
HHHHHHH	精選現代文B (東京書籍)		常用漢字ダブルクリア(尚文出版) 共通テスト対応問題集

<p>科目の到達目標</p> <p>国語総合における学習を基礎に、近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。</p> <p>論理的な文章を通して、筆者の主張がどのような根拠に基づき、どのような論理構成で述べられているかを読み取る。</p> <p>文学的な文章に触れ、人物や情景を表現に即して捉え、登場人物の心情や生き方を理解する。</p> <p>詩や短歌の韻文に触れ、言葉の美しさを学び、感受性を豊かにする。語句の意味、用法を理解し、語彙を豊かにし、適切に表現することを通して理解した内容を深め、発展させる。</p>

<p>評価の観点と方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の単元教材ごとに読解力、鑑賞力、語彙力等が備わっているかを各定期考査で検証する。 生徒全体の理解の度合いの検証とともに、生徒個々の理解の伸長、遅滞にも留意する。 適宜、漢字テストや問題演習、小論文指導を実施する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	評論 「世界をつくり替えるために」 小林 康夫 評論 「ミロのヴィーナス」 清岡 卓行	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の意見を読み取り、特色ある表現を学ぶ。 想像力による可能性の多様さや芸術の見方について考えを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文中に挙げられている具体例の効果を理解し、要旨を的確に捉える。 逆説的、比喩的表現に注意し、筆者の意見を理解する。
		1学期中間考査		<ul style="list-style-type: none"> 小説に描かれた場面や登場人物についての的確に捉える。
		小説 『山月記』 中島 敦	<ul style="list-style-type: none"> 小説の虚構性を通して人間存在の意味、人生の在り方について考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 作中人物の言動、心理を読み取り、人間理解に繋げる。 漢文調の文体を味わう。
	6	評論 「相手依存の自己規定」 鈴木孝夫	<ul style="list-style-type: none"> 言語と自我の構造の関係について考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の視点や観点を理解し、本文の表現に注意して筆者の意図を的確にとらえる。
	7	問題演習 小論文指導	<ul style="list-style-type: none"> 言葉で表現することへの意欲を持ち、効果的な表現を考えて書く力を養う。 	<ul style="list-style-type: none">
		1学期期末考査		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	評論 「科学的「発見」とは」 小川 眞里子	・科学を新しい角度からとらえ直し、人間存在についての考えを深める。	・評論文の構成や論の展開に注意して叙述内容をたどり、内容を的確に捉える。
	10	詩 「竹」 萩原 朔太郎 短歌 「牡丹花は一短歌抄」 木下 利玄ほか	・詩歌に表現された作者の心情を的確に読み取り、鑑賞力を高める。	・音読によってリズムを味わい、表現に親しむ。 ・詩歌における言葉の働きやそれぞれの作品の表現上の特徴を理解する。
		評論 「消費されるスポーツ」 多木 浩二	・現代社会における、スポーツの発展とメディアの関係性を考察する。	・筆者の意見を的確に捉え、メディアが果たす社会の形成を考察する。
		2学期中間考査		
	11	小説 『こころ』 夏目漱石	・人物の心情の推移を的確に読み取り、優れた表現や描写を味わう。	・場面、登場人物の言動、心理を的確に読み取る。 ・作品の構成・主題を読み取り、作中人物の人間像を明らかにする。
	俳句 「プラタナス―俳句抄」	・俳句に表現された作者の心情を的確に読み取り、鑑賞力を高める。	・俳句を読み味わい、繊細な表現を通して自らの言語感覚を磨く。	
	問題演習 小論文指導			
	12	2学期期末考査		
三 学 期	1	小説 『藤野先生』 魯迅／竹内好訳	・作品の理解を通して人間・社会についての洞察を深める。	・時代背景をふまえながら作品を読み、本文の表現に即して登場人物の心理を的確に読み取る。
	2	評論 「「である」ことと「すること」」 丸山 眞男	・日本の近代化の特質と問題点を読み取るとともに、現代を生きる私たちの価値観を考える。	・近代化の時代背景を整理しつつ、文化的価値の移行を読み取る。
	3	小論文指導 学年末考査		・論理の構成や展開を意識し、小論文を書く力を養う。

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・大学入試に対応するための読解力を目指し、論理的思考を養う。
- ・文章表現の練習を計画的に行い、小論文の力を養成する。
- ・問題演習を適宜実施する。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
古典B	2	2年1類B型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
HHHHHHH	精選古典B(東京書籍)	古文単語帳等	

<p>科目の到達目標</p> <p>国語総合での学習を基礎として論理的思考の過程やその表現、構成を学び、ものの見方、考え方の発展につなげるとともに、読解力を確かなものにする。</p> <p>古文単語や文語文法などの古文解釈の基礎力を固め、さまざまな古典を読み味わうとともに、古文の解釈力を高める。</p>
--

<p>評価の観点と方法について</p> <p>古文教材の学習を中心に、古文解釈力の伸長の度合を定期考査で検証する。</p> <p>なお、古文単語小テストを定期的に実施、課題テストと併せて、評価の一部とする。</p>

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	説話『宇治拾遺物語』 「小野篁、広才のこと」 説話『古今著聞集』 「能は歌詠み」	・説話に叙述された世界を読み味わう。	・説話を読み、その構成や展開に即してあらすじをとらえる。 ・敬語表現の基本的な知識を得させる。
	5	漢文「先從隗始」 1学期中間考査	・故事成語の由来を正しく理解する。	・漢文に慣れ、訓読上のきまりをより正しく理解させる。 ・話の内容を正確に理解させる。
		物語『伊勢物語』 「渚の院」	・登場人物の境遇や心情がどのように表現されているかを読み取る。	・歌物語を読み、登場人物の心情や行動について考えさせる。
	6	随筆『枕草子』 「九月ばかり」「中納言参り給ひて」 漢文「完璧而帰」	・自然や人間についての古人の優れた感性を知る。 ・句法及び訓読の基本について、理解させる。	・随筆を読み、作者の自然観や人生観に触れる。 ・話の流れや場面を正確に理解させる。
	7	1学期末考査		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	日記『更級日記』 「門出」 「物語」	・作者の生き方やものの見方、 感じ方を知る。	・日記を読み、作者の心情を読み取 らせる。
	10	漢文『史記』 「四面楚歌」 2学期中間考査	・登場人物の性格や生き方を通 して、人間のあり方や運命に ついて関心を深める。	・話の展開を読み取りながら、古代 中国の歴史の劇的な面白さを味 わう。
	11	物語『源氏物語』 「光源氏の誕生」「若紫」 漢文「春夜宴桃李園序」 2学期末考査	・場面設定や自然描写などを確 かめながら、物語の世界を読 み味わう。 ・中国の文章を通して、筆者の 主張を捉え、さまざまなもの の見方、考え方に触れる。	・『源氏物語』の世界に親しみ、登 場人物のものの見方や心情の推 移を読み取らせる。 ・文章の構成や展開を理解させ、論 旨を的確に捉えさせる。
	12	冬期講習		
三 学 期	1	歴史物語『大鏡』 「道長、伊周の競射」 「三船の才」	・登場人物の境遇や心情がどの ように表現されているかを読 み取る。	・歴史物語を読み、登場人物が政治 の世界でどのように生きたかを 理解させる。
	2	漢文 儒家と道家『論語』 『孟子』『老子』など	・中国の思想を通して、人間の 生き方やあり方についての思 索を深める。	・人間や政治をめぐる古代中国のさ まざまな思想を読み取る。
	3	学年末考査		
<p>その他（履修上の留意点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予習として、古文は口語訳を、漢文は書き下し文をしておくこと。 ・ 古文単語小テストを実施し、成績に組み込む。 				

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代文	3	2年1類 (C型)	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
HHHHHHH		精選現代文B (東京書籍)	常用漢字ダブルクリア (尚文出版) 他

<p>科目の到達目標</p> <p>国語総合における学習を基礎に、近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。</p> <p>論理的な文章を通して、筆者の主張がどのような根拠に基づき、どのような論理構成で述べられているかを読み取る。</p> <p>文学的な文章に触れ、人物や情景を表現に即して捉え、登場人物の心情や生き方を理解する。</p> <p>詩や短歌の韻文に触れ、言葉の美しさを学び、感受性を豊かにする。語句の意味、用法を理解し、語彙を豊かにし、適切に表現することを通して理解した内容を深め、発展させる。</p>

<p>評価の観点と方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の単元教材ごとに読解力、鑑賞力、語彙力等が備わっているかを各定期考査で検証する。 生徒全体の理解の度合いの検証とともに、生徒個々の理解の伸長、遅滞にも留意する。 適宜漢字小テストや小論文指導を実施する。
--

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	<p>評論 「世界をつくり替えるために」 小林 康夫</p> <p>評論 「ミロのヴィーナス」 清岡 卓行</p> <p>1学期中間考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> 想像力による可能性の多様さや芸術の見方について考えを持つ。 筆者の意見を読み取り、特色ある表現を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 逆説的、比喩的表現に注意し、筆者の意見を理解する。 本文中に挙げられている具体例の効果を理解し、要旨を的確に捉える。
	5	<p>小説 「山月記」 中島 敦</p>	<ul style="list-style-type: none"> 小説の虚構性を通して人間存在の意味、人生の在り方について考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 小説に描かれた場面や登場人物についての的確に捉える。 作中人物の言動、心理を読み取り、人間理解に繋げる。 漢文調の文体を味わう。
	6	<p>評論 「相手依存の自己規定」 鈴木 孝夫</p> <p>小論文指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> 言語と自我の構造の関係について考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の視点や観点を理解し、本文の表現に注意して筆者の意図を的確にとらえる。 論理の構成や展開を意識し、小論文を書く力を養う。
	7	1学期期末考査		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	小論文模試	・言葉で表現することへの意欲を持ち、効果的な表現を考えて書く力を養う。	・事前学習をした上で模試に取り組む。
	10	評論 「科学的「発見」とは」 小川 眞里子	・科学を新しい角度からとらえ直し、人間存在についての考えを深める。	・評論文の構成や論の展開に注意して叙述内容をたどり、内容を的確に捉える。
		詩 「竹」 萩原 朔太郎 短歌 「牡丹花は一短歌抄」 木下 利玄ほか	・詩歌に表現された作者の心情を的確に読み取り、鑑賞力を高める。 ・韻文のリズムや季節を味わう。	・詩歌における言葉の働きやそれぞれの作品の表現上の特徴を理解する。 ・音読によってリズムを味わい、韻文に親しむ。
	11	評論 「消費されるスポーツ」 多木 浩二	・現代社会における、スポーツの発展とメディアの関係性を考察する。	・筆者の意見を的確に捉え、メディアが果たす社会の形成を考察する。
		2学期中間考査 小説 「ころ」 夏目漱石	・人物の心情の推移を的確に読み取り、優れた表現や描写を味わう。	・場面、登場人物の言動、心理を的確に読み取る。 ・作品の構成・主題を読み取り、作中人物の人間像を明らかにする。
12	俳句 「プラタナス—俳句抄」 小論文指導 2学期期末考査	・俳句に表現された作者の心情を的確に読み取り、鑑賞力を高める。	・俳句を読み味わい、繊細な表現を通して自らの言語感覚を磨く。	
三 学 期	1	小説 「藤野先生」 魯迅／竹内 好訳	・作品の理解を通して人間・社会についての洞察を深める。	・時代背景をふまえながら作品を読み、本文の表現に即して登場人物の心理を的確に読み取る。
	2	評論 「「である」ことと「する」こと」 丸山 真男 小論文指導	・日本の近代化の特質と問題点を読み取るとともに、現代を生きる私たちの価値観を考える。	・近代化の時代背景を整理しつつ、文化的価値の移行を読み取る。
	3	学年末考査		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・大学入試に対応するための読解力を目指し、論理的思考を養う。
- ・文章表現の練習を計画的に行い、小論文の力を養成する。
- ・適宜問題集で演習を行い、読解力を養う。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
古典B	3	2年1類C型	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
HHHHHHH	精選古典B(東京書籍)		古文単語帳等

<p>科目の到達目標</p> <p>国語総合での学習を基礎として論理的思考の過程やその表現、構成を学び、ものの見方、考え方の発展につなげるとともに、読解力を確かなものにする。</p> <p>古文単語や文語文法などの古文解釈の基礎力を固め、さまざまな古典を読み味わうとともに、古文の解釈力を高める。</p>
--

<p>評価の観点と方法について</p> <p>古文教材の学習を中心に、古文解釈力の伸長の度合を定期考査で検証する。</p> <p>なお、古文単語小テストを定期的実施、課題テストと併せて、評価の一部とする。</p>
--

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	説話『宇治拾遺物語』 「小野篁、広才のこと」 説話『古今著聞集』 「能は歌詠み」	・説話に叙述された世界を読み味わう。	・説話を読み、その構成や展開に即してあらすじをとらえる。 ・敬語表現の基本的な知識を得させる。
	5	漢文「先従隗始」 問題演習 1学期中間考査	・故事成語の由来を正しく理解する。	・漢文に慣れ、訓読上のきまりをより正しく理解させる。 ・話の内容を正確に理解させる。
		物語『伊勢物語』 「渚の院」	・登場人物の境遇や心情がどのように表現されているかを読み取る。	・歌物語を読み、登場人物の心情や行動について考えさせる。
	6	随筆『枕草子』 「九月ばかり」「中納言参り給ひて」 漢文「完璧而帰」 問題演習	・自然や人間についての古人の優れた感性を知る。 ・句法及び訓読の基本について、理解させる。	・随筆を読み、作者の自然観や人生観に触れる。 ・話の流れや場面を正確に理解させる。
	7	1学期末考査		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	日記『更級日記』 「門出」 「物語」	・作者の生き方やものの見方、 感じ方を知る。	・日記を読み、作者の心情を読み取 らせる。
	10	漢文『史記』 「四面楚歌」 問題演習 2学期中間考査	・登場人物の性格や生き方を通 して、人間のあり方や運命に ついて関心を深める。	・話の展開を読み取りながら、古代 中国の歴史の劇的な面白さを味 わう。
	11	物語『源氏物語』 「光源氏の誕生」「若紫」 漢文「春夜宴桃李園序」 2学期末考査 問題演習	・場面設定や自然描写などを確 かめながら、物語の世界を読 み味わう。 ・中国の文章を通して、筆者の 主張を捉え、さまざまなもの の見方、考え方に触れる。	・『源氏物語』の世界に親しみ、登 場人物のものの見方や心情の推 移を読み取らせる。 ・文章の構成や展開を理解させ、論 旨を的確に捉えさせる。
	12	2学期期末考査		
三 学 期	1	歴史物語『大鏡』 「道長、伊周の競射」 「三船の才」	・登場人物の境遇や心情がどの ように表現されているかを読 み取る。	・歴史物語を読み、登場人物が政治 の世界でどのように生きたかを 理解させる。
	2	漢文 儒家と道家『論語』 『孟子』『老子』など 問題演習	・中国の思想を通して、人間の 生き方やあり方についての思 索を深める。	・人間や政治をめぐる古代中国のさ まざまな思想を読み取る。
	3	学年末考査		
<p>その他（履修上の留意点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予習として、古文は口語訳を、漢文は書き下し文をしておくこと。 ・ 古文単語小テストを実施し、成績に組み込む。 				

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代文	3	2年・2類・文型	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
HHHHHHH		精選現代文B(東京書籍)	現代文キーワード集・演習用問題集 等

<p>科目の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語総合での学習を基礎として、論理的思考の過程や構成を学び、社会におけるものの見方、考え方の発展につなげるとともに、評論文に対する読解力をより確かなものにする。 ・文学的文章を通して人間関係や人物の心情を的確に把握し、人の心のありようについて考えを深める。 ・語句の意味・用法を理解し、語彙を豊かにすることで自己表現力を高め、小論文を書く力を養う。 ・多様化しつつある大学入試に対応できる国語力を身に付ける。

<p>評価の観点と方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の各単元教材の理解度を定期考査で検証するとともに、知識・思考力・判断力を評価する。 ・漢字小テストを実施し、知識の評価の一部とする。 ・授業態度と課題の提出をもって主体的に取り組む態度を評価し、小論文教材と課題をもって思考力・判断力・表現力を評価する。
--

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	評論 「世界をつくり替えるために」 小林康夫 「ミロのビーナス」 清岡卓行	<ul style="list-style-type: none"> ・評論を読み、表現の特徴に注意して筆者の主張を的確に捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶことの意味について筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考える。 ・具体例に注目して筆者の主張を理解し、芸術の見方について考える。
	5	小説 「山月記」 中島 敦 問題演習① 1学期中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・小説を読み、そこに描かれた場面や登場人物について表現に即して捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。
	6	評論 「相手依存の自己規定」 鈴木孝夫 「科学的『発見』とは」 小川 眞理子 詩「永訣の朝」 宮澤賢治 「未確認飛行物体」 萩原朔太郎	<ul style="list-style-type: none"> ・評論を読み、根拠を確かめながら筆者の主張を捉える。 ・科学を新しい角度からとらえ直し、人間存在についての考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み、言語と自我の構造について考える。 ・本文中の二つの課題を追体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。
	7	小論文指導 問題演習② 1学期末考査・夏期講習	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞力を養い、それぞれの作品の豊かな表現を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩における言葉の働きやそれぞれの作品の表現上の特徴を理解する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	評論 「おじいさんのランプ」 宇野常寛 「書物の現代」紅野謙介 「読み書きする身体」 港 千尋 「消費されるスポーツ」 多木浩二	・情報化社会を題材とする複数の評論を読み、視野を広げる。	・話題と主張の関係に着目して読み、時代とともに変わっていく本のあり方について考える。 ・同じテーマについて書かれた複数の文章を読み比べる。 ・筆者の提示する問題を読み取って整理し、メディアとスポーツの関係について理解を深める。
	10	問題演習③ 2学期中間考査 小説 「こころ」 夏目漱石	・小説における場面展開や、人物の性格・心理の描写を読み取る。	・人間関係における人物の心情を的確に把握して、人の心のありようについて考えを深める。
	11	評論 「『である』ことと『すること』」丸山真男 「人間の運命と科学」 長谷川英祐	・社会と人間のあり方を主題とする評論を読み、自己の価値観と照らし合わせて考える。	・例示と意見の関係を整理して主張を捉え、変化する社会における人間のあり方について考える。 ・論の展開と後世を把握して主張を捉え、科学と人間の関係について考えを深める。
	12	小論文指導 問題演習④ 2学期末考査・冬期講習		
三 学 期	1	小説 「藤野先生」 魯迅	・描かれた人間、社会について、表現に即して理解する。	・「私」が出会った藤野先生の間像と「私」の思いを、時代背景に注意しながら、表現に即して読み取る。
	2	評論 「日本人の美意識」 高階秀爾 「地図の想像力」若林幹男	・絵画や地図を参考にして評論を読み、構成・展開・要旨を的確に理解する。	・図を適切に参照して本文中の対比を捉え、日本と西欧との美意識の違いを理解する。 ・提示されている地図に注目して論の展開を抑え、地図に対する筆者の考えを読み取る。
	3	小論文指導 問題演習⑤ 学年末考査		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・別紙授業計画をよく読み、予習をして授業に臨むこと。
- ・漢字の小テストを活用して漢字・熟語の知識の定着を図ること。
- ・実践力を養うために、問題演習や出された課題にしっかりと取り組むこと。
- ・志望理由書・入試小論文対策として、志望大学・学部とその専門について探究すること。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
古典	4	2年・2類・文型	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
HHHHHHH		精選古典 B(東京書籍)	古文単語集・古典文法・漢文参考書・問題集

<p>科目の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語総合での学習を基礎として論理的思考の過程やその表現、構成を学び、現代にも通じるものの見方、考え方の発展につなげるとともに、古典の読解力を確かなものにする。 ・古文単語や文語文法などの古文解釈の基礎力を固め、さまざまな日本の古典文学を読み味わうとともに、解釈力を高める。 ・漢文の句法と用字法を体系的に学習し、漢文の読解力を高めるとともに日本古典や現代への影響を学ぶ。 ・共通テスト・難関大入試に対応できる基礎学力を身に付ける。
--

<p>評価の観点と方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の各単元教材の理解度を定期考査で検証するとともに、知識・思考力・判断力を評価する。 ・古文単語小テストを実施し、知識の評価の一部とする。 ・授業態度と課題の提出をもって主体的に取り組む態度を評価し、論述課題を持って思考力・判断力・表現力を評価する。
--

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	説話『古今著聞集』 『宇治拾遺物語』 物語『伊勢物語』	<ul style="list-style-type: none"> ・説話に叙述された世界を読み味わう。 ・自然や人間についての古人の優れた感性を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説話を読み、その構成や展開に即してあらすじをとらえる。 ・和歌と本文の内容との関係を正確に読み取る。
	5	漢文 小話五編 問題演習① 1学期中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の考え方を理解し、話の面白さを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文の基礎を復習しながら、教訓的な話に親しむ。
	6	物語『大和物語』	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の境遇や心情がどのように表現されているかを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の展開に即して、内容を正確に読み取る。
		随筆『枕草子』	<ul style="list-style-type: none"> ・作者の生き方やものの見方、感じ方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆を読み、作者の自然観や人生観に触れ、ものの見方、感じ方を豊かにする。
	7	漢文 唐詩 史記「鴻門之会」 「四面楚歌」「項王自刎」	<ul style="list-style-type: none"> ・近体詩の形式に親しむとともに漢詩を読む楽しさを知る。 ・登場人物の性格や生き方を通して、人間のあり方や運命について関心を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩にうたわれた情景を読み取り、作者の心情を味わう。 ・話の展開を読み取りながら、古代中国の歴史の劇的な面白さを味わう。
		問題演習② 1学期末考査 夏期講習		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	随筆『方丈記』 『徒然草』 日記『紫式部日記』 『和泉式部日記』	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな随筆を読み、作者のものの見方や感じ方、考え方の違いについて考察する。 ・日記に表れている作者のものの見方や感じ方、考え方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の変遷という観点から古語と現代語を比較し、国語の特質について考える。 ・日記を読み、作者の境遇や出来事を的確に捉える。
	10	漢文 『論語』『孟子』『荀子』 『老子』『莊子』 問題演習③ 2学期中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる二つの中国の思想を通して、人間の生き方や日本への影響についての思索を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・儒家と道家の文章を読み、人間を巡るさまざまな思想を読み取る。
	11	物語『大鏡』 漢文 『世説新語』 『太平広記』 問題演習④ 2学期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・関心を持った事柄について調べ、古典や日本の文化について考察する。 ・発想や表現の特色を理解し、中国の小説のおもしろさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『大鏡』を読み、登場人物の行動や心情を捉える。 ・話の展開に即して、内容を正確に読み取る。
	12	冬期講習		
三 学 期	1	物語 『源氏物語』	<ul style="list-style-type: none"> ・場面設定や自然描写などを確かめながら、物語の世界を読み味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『源氏物語』の世界に親しみ、登場人物のものの見方や心情の推移を読み取る。
	2	漢文 古詩 「漁夫辞」 「春夜宴桃李園序」 問題演習⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・古体詩を読み、その特色を理解する。 ・筆者の主張を捉え、さまざまなものの見方、考え方に触れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩にうたわれた情景や作者の心情を読み味わう。 ・文章の構成や展開を理解し、論旨を的確にとらえる。
	3	学年末考査		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・別紙授業計画をよく読み、予習をして授業に臨むこと。
- ・古文についても漢文についてもできるだけ音読予習を心掛けること。
- ・古文単語小テストや漢文句法小テストを活用して古文単語や漢文句法の知識定着を図ること。
- ・実践力を養うために、問題演習や出された課題にしっかりと取り組むこと。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代文	2	2年・2類・理型	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
HHHHHHH		精選現代文B(東京書籍)	現代文キーワード集・演習用問題集 等

<p>科目の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語総合での学習を基礎として、論理的思考の過程や構成を学び、社会におけるものの見方、考え方の発展につなげるとともに、評論文に対する読解力をより確かなものにする。 ・文学的文章を通して人間関係や人物の心情を的確に把握し、人の心のありようについて考えを深める。 ・語句の意味・用法を理解し、語彙を豊かにすることで自己表現力を高め、小論文を書く力を養う。 ・多様化しつつある大学入試に対応できる国語力を身に付ける。

<p>評価の観点と方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の各単元教材の理解の度合を定期考査で検証するとともに、知識・思考力・判断力を評価する。 ・漢字小テストを実施し、知識の評価の一部とする。 ・授業態度と課題の提出をもって主体的に取り組む態度を評価し、小論文教材と課題をもって思考力・判断力・表現力を評価する。
--

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	評論 「ミロのビーナス」清岡卓行	・評論を読み、表現の特徴に注意して筆者の主張を的確に捉える。	・具体例に注目して筆者の主張を理解し、芸術の見方について考える。
	5	小説 「山月記」 中島 敦	・小説を読み、そこに描かれた場面や登場人物について表現に即して捉える。	・登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。
		問題演習① 1学期中間考査 評論 「相手依存の自己規定」 鈴木孝夫	・評論を読み、根拠を確かめながら筆者の主張を捉える。	・具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み、言語と自我の構造について考える。
	6	「科学的『発見』とは」 小川 眞理子	・科学を新しい角度からとらえ直し、人間存在についての考えを深める。	・本文中の二つの課題を追体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。
	7	詩「永訣の朝」宮澤賢治 小論文指導 問題演習② 1学期末考査・夏期講習	・鑑賞力を養い、作品の豊かな表現を味わう。	・詩における言葉の働きや表現上の特徴を理解する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	評論 「おじいさんのランプ」 宇野常寛 「書物の現代」紅野謙介 「読み書きする身体」 港 千尋 「消費されるスポーツ」 多木浩二	・情報化社会を題材とする複数の評論を読み、視野を広げる。	・話題と主張の関係に着目して読み、時代とともに変わっていく本のあり方について考える。 ・同じテーマについて書かれた複数の文章を読み比べる。 ・筆者の提示する問題を読み取って整理し、メディアとスポーツの関係について理解を深める。
	10	問題演習③ 2学期中間考査 小説 「こころ」 夏目漱石	・小説における場面展開や、人物の性格・心理の描写を読み取る。	・人間関係における人物の心情を的確に把握して、人の心のありようについて考えを深める。
	11	評論 「『である』ことと『すること』」丸山真男 「人間の運命と科学」長谷川英祐	・社会と人間のあり方を主題とする評論を読み、自己の価値観と照らし合わせて考える。	・例示と意見の関係を整理して主張を捉え、変化する社会における人間のあり方について考える。 ・論の展開と後世を把握して主張を捉え、科学と人間の関係について考えを深める。
	12	小論文指導 問題演習④ 2学期末考査・冬期講習		
三 学 期	1	小説 「藤野先生」 魯迅	・描かれた人間、社会について、表現に即して理解する。	・「私」が出会った藤野先生の間像と「私」の思いを、時代背景に注意しながら、表現に即して読み取る。
	2	評論 「日本人の美意識」高階秀爾 「地図の想像力」若林幹男	・絵画や地図を参考にして評論を読み、構成・展開・要旨を的確に理解する。	・図を適切に参照して本文中の対比を捉え、日本と西欧との美意識の違いを理解する。 ・提示されている地図に注目して論の展開を抑え、地図に対する筆者の考えを読み取る。
	3	小論文指導 問題演習⑤ 学年末考査		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・別紙授業計画をよく読み、予習をして授業に臨むこと。
- ・漢字の小テストを活用して漢字・熟語の知識の定着を図ること。
- ・実戦力を養うために、問題演習や出された課題にしっかりと取り組むこと。
- ・志望理由書・入試小論文対策として、志望大学・学部とその専門について探究すること。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
古典	3	2年・2類・理型	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
HHHHHHH		精選古典 B(東京書籍)	古文単語集・古典文法・漢文参考書・問題集

<p>科目の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語総合での学習を基礎として論理的思考の過程やその表現、構成を学び、現代にも通じるものの見方、考え方の発展につなげるとともに、古典の読解力を確かなものにする。 ・古文単語や文語文法などの古文解釈の基礎力を固め、さまざまな日本の古典文学を読み味わうとともに、解釈力を高める。 ・漢文の句法と用字法を体系的に学習し、漢文の読解力を高めるとともに日本古典や現代への影響を学ぶ。 ・共通テスト・難関大入試に対応できる基礎学力を身に付ける。
--

<p>評価の観点と方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の各単元教材の理解度を定期考査で検証するとともに、知識・思考力・判断力を評価する。 ・古文単語小テストを実施し、知識の評価の一部とする。 ・授業態度と課題の提出をもって主体的に取り組む態度を評価し、論述課題を持って思考力・判断力・表現力を評価する。
--

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	説話『古今著聞集』 『宇治拾遺物語』 物語『伊勢物語』	<ul style="list-style-type: none"> ・説話に叙述された世界を読み味わう。 ・自然や人間についての古人の優れた感性を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説話を読み、その構成や展開に即してあらすじをとらえる。 ・和歌と本文の内容との関係を正確に読み取る。
	5	漢文 小話三編 問題演習① 1学期中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の考え方を理解し、話の面白さを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文の基礎を復習しながら、教訓的な話に親しむ。
	6	物語『大和物語』	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の境遇や心情がどのように表現されているかを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の展開に即して、内容を正確に読み取る。
		随筆『枕草子』	<ul style="list-style-type: none"> ・作者の生き方やものの見方、感じ方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆を読み、作者の自然観や人生観に触れ、ものの見方、感じ方を豊かにする。
	7	漢文 唐詩 史記「鴻門之会」 「四面楚歌」「項王自刎」	<ul style="list-style-type: none"> ・近体詩の形式に親しむとともに漢詩を読む楽しさを知る。 ・登場人物の性格や生き方を通して、人間のあり方や運命について関心を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩にうたわれた情景を読み取り、作者の心情を味わう。 ・話の展開を読み取りながら、古代中国の歴史の劇的な面白さを味わう。
		問題演習② 1学期末考査 夏期講習		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	随筆『方丈記』 『徒然草』 日記『紫式部日記』 『和泉式部日記』 漢文	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな随筆を読み、作者のものの見方や感じ方、考え方の違いについて考察する。 ・日記に表れている作者のものの見方や感じ方、考え方を理解する。 ・異なる二つの中国の思想を通して、人間の生き方や日本への影響についての思索を深める。 ・関心を持った事柄について調べ、古典や日本の文化について考察する。 ・発想や表現の特色を理解し、中国の小説のおもしろさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の変遷という観点から古語と現代語を比較し、国語の特質について考える。 ・日記を読み、作者の境遇や出来事を的確に捉える。 ・儒家と道家の文章を読み、人間を巡るさまざまな思想を読み取る。 ・『大鏡』を読み、登場人物の行動や心情を捉える。 ・話の展開に即して、内容を正確に読み取る。
	10	『論語』『孟子』『荀子』 『老子』『莊子』 問題演習③		
	11	2学期中間考査 物語『大鏡』 漢文 『世説新語』 『太平広記』 問題演習④		
	12	2学期末考査 冬期講習		
三 学 期	1	物語 『源氏物語』 漢文 古詩	<ul style="list-style-type: none"> ・場面設定や自然描写などを確かめながら、物語の世界を読み味わう。 ・古体詩を読み、その特色を理解する。 ・筆者の主張を捉え、さまざまなものの見方、考え方に触れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『源氏物語』の世界に親しみ、登場人物のものの見方や心情の推移を読み取る。 ・詩にうたわれた情景や作者の心情を読み味わう。 ・文章の構成や展開を理解し、論旨を的確にとらえる。
	2	「漁夫辞」 「春夜宴桃李園序」 問題演習⑤		
	3	学年末考査		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・別紙授業計画をよく読み、予習をして授業に臨むこと。
- ・古文についても漢文についてもできるだけ音読予習を心掛けること。
- ・古文単語小テストや漢文句法小テストを活用して古文単語や漢文句法の知識定着を図ること。
- ・実践力を養うために、問題演習や出された課題にしっかりと取り組むこと。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代文	3	2年3類	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
HHHHHH	新編 現代文B (東京書籍)		常用漢字ダブルクリア(尚文出版)

<p>科目の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語総合での学習を基礎として定着させ、論理的思考の過程やその表現、構成を学び、ものの見方、考え方の発展につなげる。 ・さまざまな文学的文章表現を吟味して表現の豊かさを学び、自己の言語表現の可能性を広げる。目的や課題に応じて様々な情報を収集し活用して、進んで表現すること、また読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。

<p>評価の観点と方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代文分野は、教科書の各単元教材の理解の度合いを定期考査で検証する。その際、授業内容の理解のみに止まらず、応用力や実戦的な学力につながるような問題作成にも努める。その他、漢字の書き取り作業や小論文テキストを評価の一部とする。 ・週に一度漢字テキストを用いて漢字の能力を伸ばし、定期考査で検証する。 ・作文・小論文への取り組みを学期毎に行い、評価する。
--

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	随想「こそそめスープ」 村田 沙耶香	筆者の考え方や感じ方を表現の特徴に注意して読み取る。	筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。
	5	小説「みどりのゆび」 吉本 ばなな	主人公の心情を読み取り人間と自然の生命のつながりについて考えを深める。	文章の時系列や、登場人物の関係を理解し、全体のつながりを読み取る
	6	1学期中間考査 評論「生命とは何か」 長沼 毅	文章の構成、展開、要旨などを的確に捉える。	論の展開に注意して筆者の考えを読み取り、生命の特徴や不思議さについて考える。
		小説「ナイン」 井上 ひさし	登場人物の関係を捉え、それぞれの言動の背後にある心の動きを読み取る。	小説の中に描かれた人間関係のありかたについて興味をもち、考えを深めようとする。
	7	小論文指導 1学期期末考査		課題を与えて提出させ、添削指導をする。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	小説『山椒魚』 井伏鱒二	寓話的な小説の世界を味わい、その主題と構想を探る。	山椒魚や蛙の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。
	10	詩「ぶうぶう紙を…」 新川 和江	リズムや表現の特色を味わう。	詩的な表現の背後にある歴史的・社会的な出来事について理解し、作者の心情を想像する。
	11	2学期中間考査 評論「思考の肺活量」 鷲田清一	表現に注意して読み、提示された問題を的確に把握する。	比喩表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解を深める。
	12	短歌「信濃路」 2学期期末考査	繰り返し音読してリズムを味わい、短歌に描かれた情景や心情を豊かに想像する。	短歌を読み味わい、それぞれの対象の捉え方の違いや、作品独自のおもしろさを指摘しようとする。
三 学 期	1	小説『こころ』 夏目漱石	登場人物の行動や心理を読み取り、人間のエゴについて考える。	時代背景を理解し、登場人物の人間関係を整理した上で、それぞれの行動・セリフ、また情景描写から、その心理の推理をおさえる。
	2	小論文指導		課題を与えて提出させ、添削指導をする。
	3	3学期期末考査		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

主述や指示語・接続詞など日本語文法を理解し、論理的読解ができるように単元ごとの読解法を習得した上で、随時文章を書かせる指導をする。

進学のための受験方法としての国語に対する取り組み方についても言及していく。

漢字力強化にも力を注ぎ、日本語の正しい知識も身につけさせる。

図書館での読書活動を通して、さまざまな分野への興味・関心を広めたり、自分の研究テーマを持って調べ学習を展開したり、情報リテラシー能力を養う。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
古典	2	2年3類	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
HHHHHHH		標準古典A 物語選 (第一学習社)	

<p>科目の到達目標</p> <p>国語総合での学習を基礎として、より多くの古典作品に触れることで、ものの見方、考え方の発展につなげる。</p> <p>古文単語や文語文法などの古文解釈の基礎を学び、古典を読み味わう力を養うとともに、現代の生活に活かせる古人の知恵を身につける。</p>
--

<p>評価の観点と方法について</p> <p>古典教材の学習を中心に、古文解釈力の伸長の度合いを定期考査で検証する。</p> <p>定期考査と平常点（小テスト・提出物など）により、総合的に評価する。また創作活動などに於いては意欲や授業に対する積極性を対象とし、平常点として考慮していく。</p>

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
学期	4	説話『古本説話集』 「平中が事」	・説話を通じて古文の世界に親しむ。	・説話文学の特色を理解し、説話の面白さを理解する。
	5	『古今著聞集』「小式部内侍が大江山の歌の事」 1 学期中間考査	・和歌の詠まれた背景を学び、平安朝の貴族の生活と当時の人々の心情に触れる。	・「係り結び」とその効果を理解する。 ・和歌の修辞を理解する。
	6	物語『伊勢物語』 「初冠」 随筆『徒然草』 「公世の二位のせうとに」	・歌物語の和歌がどのような役割を果たしているかを知り、風流を愛した当時の人々の心に触れる。 ・自然や人間についての古人の優れた感性に触れる。	・歌物語の特色を理解し、和歌に込められた登場人物の心情を読みとる。 ・随筆を読み、作者のものの見方・考え方を理解する。
	7	漢文 故事 『孟子』「助長」	・漢文訓読の基本について理解させる。漢文を読む面白さを感じさせる。	・訓点の基礎を学び、自分で書き下し文に出来るようにする。
			1 学期末考査	

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	随筆『方丈記』 「ゆく川の流れ」	・作者の価値観に触れ、自己のもの の見方、感じ方を豊かにする。	・随筆文学の独特の音律や表現を理 解し、時代背景や登場人物の心情 について把握する。
	10	随筆『枕草子』 「中納言参り給ひて」		
	11	2学期中間考査 日記 『更級日記』 「門出」	・中古の日記文学を通じて、当時 の生活と信仰を学ばせる。	・作者の回想している事柄を読み取 り、その生活と心情について理解 を深める。
	12	漢文 故事 『歴代名画記』『画竜点睛』 『唐詩紀事』『推敲』 2学期末考査	・登場人物の考え方を理解し、話 の面白さを感じさせる。	・話の展開に即して、内容を正確に 読み取る。
三 学 期	1	軍記『平家物語』 「忠度の都落ち」	・和漢混交文で記された軍記物語 の特徴を理解させる。	・登場人物の置かれている立場、心 情を理解する。
	2	和歌 「万葉集」「古今和歌集」 「新古今和歌集」	・和歌を鑑賞し、味わう態度を身 に付けさせる。	・優れた和歌を味わい、和歌の修辞 法について復習し、歌風や文学史 についても知識を確認する。
	3	近体の詩「絶句」「洞庭に 臨む」	・近体詩の基本について理解させ る。漢詩を読む楽しさを知らせる。	・詩に詠まれた自然に対する作者の 思いとその人生について考える。
		学年末考査		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

生きた日本語を身につけさせるようにするため、単に読んで理解するという段階にとどまらず、それを受けて、自分の考え方を表現し、他者へ伝達する方法としての言葉を意識させる。

漢字力・語彙力強化に力を注ぎ、故事成語などを中心に、日本語の正しい知識も身につけさせる。